⑩ 日本園特許庁(JP)

①実用新案出願公告

# ⑫実用新案公報(Y2)

(a) Int Cl. 4

織別記号

广内整理番号

**经**经公告 昭和60年(1985)1月16日

H 01 J 29/76

6668-5C

(全3頁)

図考案の名称

⑪出 願 人

偏向ヨーク

到実 顧 昭54-2474 69公 第 昭55-102160

顧 昭54(1979)1月10日 砂田

鐵昭55(1980)7月16日

砂考 案 者 吉 川 鰵 夫

東京都大田区西六郷3丁目26番11号 電気音響株式会社内

東京都大田区西六郷3丁目26番11号

誠 次 審 査 官 村 井

1

電気音響株式会社

2

## 砂実用新案登録請求の範囲

尾部渡り線部分が軸方向に直線状に伸ばされて 形成されたくら型巻の偏向コイルをポピンの外面 に装置して構成して成る偏向ヨークにおいて、前 して一対の突起部を設けると共に、前配偏向コイ ルの外面に配置されるコアの内面に、前記ボビン の突起部に対応して凹部を散け、前記ボビンとコ アを前記突起部・凹部を介して係合固定したこと を特徴とする偏向ヨーク。

#### 考案の詳細な説明

本考案は、尾部渡り線部分が軸方向に直線状に 伸ばされて形成されたくら型巻の偏向コイルを有 して成る偏向ヨークに関する。

した偏向コイルを用い、コマ収差、非点差、スポ ット帝及び能率等を改善して成る偏向ヨークが開 発されてきている。そして、この偏向ヨークにお いては、偏向コイルの尾部渡り線部分が直線状に 収納溝を設けた拡大部を形成する必要はなく、ボ ビンの後端部も直線状に形成される。従つて、ボ ビンの外面に装置されるコアは、ボビン前端値で はボビンが形成されたフランジ部によつて位置規 り、コアをボビン外面上に固定するには、例えば 接着剤等の別部品を必要とするもので、この結 果、作業性が列化し、コスト高になり、その上、 組立精度も悪化して偏向ヨークの特性にバラツキ が出る、等の欠点を有するものであつた。

本考案は上記欠点を除去することを目的とした 傷向ヨークに関し、特に、ボビン外面にコアを被 せるのみでその固定が成される構成を備えた、尾 部渡り線部分が軸方向に直線状に伸ばされて形成 記ポビンの外面に、前記偏向コイルの窓部に対応 5 されたくら型巻の偏向コイルを有する偏向ヨーク に関するものである。

以下、本考案の一実施例を図面を用いて詳細に 説明する。第1図に示す如く、本考案の偏向ヨー クは、水平偏向コイル1と、ポピン2と、垂直偏 10 向コイル3と、コア4とから構成される。このう ち、水平偏向コイル1は、第2図に示す如く、頭 部渡り線部分5が軸方向に対して垂直に曲げら れ、尾部渡り線部分6が軸方向に直線状に伸ばさ れてくら型巻に形成され、第3図・第4図に示す 近来、尾部渡り線部分を軸方向に直線状に伸ば 15 ボビン2の内面に装着固定される。第3図・第4 図において、7はボビン本体であり、内面には前 述した如く、水平偏向コイル1が装着され、外面 には第5図に示す垂直偏向コイル3が装着され る。8はボビン本体7の頭部に形成されたフラン 伸びているため、ボビンの後端部に内部に渡り線 20 ジ部であり、内側には水平偏向コイル1の頭部渡 り線部分5が配設され、外側には垂直偏向コイル 3の顕部渡り線部分14が配設される。9は取付 舌片であり、偏向ヨークをブラウン管のネツクに 固定するためのものである。10,10はボビン 制されるが、ポピン後端部ではフリーの状態とな 25 本体 7 の内面軸方向に沿つて形成されたセパレー タであり、水平偏向コイル1をポピン本体7の内 面で分離する。11,11は突起部であり、ボビ ン本体 7 のセパレータ 10, 10 に対応する外面 位置に180°対向して配設される。突起部11, 30 11の配設される位置は、垂直偏向コイル3の窓

部17,17が位置する部分に対応するものであ る。ボビン本体7の突起部11,11は、突起台 12, 12と、突起台12, 12上に突設された 突起片13,13とから構成され、このうち、突 7,17付近の巻厚とほぼ同じ高さに形成される もので、突起片13、13の突起高を調節し、突 起片13,13の機械的強度を補強するものであ る。突起部11,11の突起片13,13は、ボ た状態では、垂直偏向コイル3の窓部17.17 から外側に突出しており、第6図に示すコア4の 内面に突起部11,11に対応して180°対向し て設けられた長方形状の凹部 18, 18と係合し 11,11の突起片13,13の尾部側の突起面 13a, 13aは、ポピン2の尾部側に傾斜角度 がつけられている。これは、ボビン2の尾部側か らコア4を被せて結合する際に、コア4の挿入を 如く、頭部渡り線部分14が軸方向に対して垂直 に曲げられ、尾部渡り線部分15が軸方向に直線 状に伸ばされたくら型巻に形成されている。垂直 偏向コイル3のボビン2への固定は特になく、垂 れるため、ボビン2とコア4の結合によつて間接 的に固定が成される。第7図はボビン2とコア4 の結合(固定)状態を示すものであり、このよう に、コア4の凹部18、18にボビン2の突起部 11, 11を係合すれば、コア4はボビン2の尾 30 面図である。 部方向への移動が規制され、かつ、頭部において も、ボビン2のフランジ部8及び垂直偏向コイル 3の頭部渡り線部分14によつて移動が規制さ

れ、従つて、確実に寸法精度の高い結合(固定)

た凹部18のコア4の頭部端20までの長さを 1,、ポピン2に配設された突起部11の突起片! 3の頭部側突起片13 b よりフランジ部8の外側 までの長さをし、垂直偏向コイル3の頭部渡り線 起台12,12は、垂直偏向コイル3の窓部1 5 部分14の厚さをtとし、トュ+t=トュの関係にな るように突起部11の突起片13及び凹部18の 位置を設定すれば、垂直偏向コイル3は、頭部渡 り線部分14がコア4の頭部端20によつて押え られ、ボビン2に特に固定構造を設けることな ビン本体7の外面に垂直偏向コイル3が装着され 10 く、コア4をポビン2に結合(固定)するのみで 間接的に固定が成されるものである。

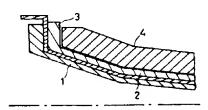
以上述べた如く、本考案の偏向ヨークによれば ボビンにコアを被せるのみで、突起部・凹部を介 して偏向コイルも含めてボビンとコアを結合(固 て、コア 4 をボビン 2 の外面に固定する。突起部 15 定)することができ、、接着剤等の別部品が不要 となり、組立時の作業性が改善されて自動化が可 能となり、コストの低減を図ることができる他、 組立精度が向上し、特性等の安定した偏向ヨーク を得ることができるもので、特に、尾部渡り線部 助長する。次に、垂直偏向コイル3は、第5図の 20 分が軸方向に直線状に伸ばされて形成されたくら 型巻の偏向コイルを有くする偏向ヨークに適用す ればその効果は極めて大なるものである。

#### 図面の簡単な説明

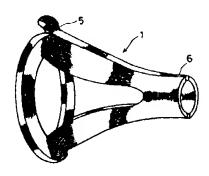
第1図は本考案偏向ヨークの基本構成における 直偏向コイル3がボビン2とコア4の間に装設さ 25 要部断面側面図、第2図は本考案の一実施例にお ける水平偏向コイルの斜視図、第3図・第4図は 同じくボビンの斜視図、第5図は同じく垂直偏向 コイルの斜視図、第6図は同じくコアの一部破断 斜視図、第7図は同じく偏向ヨークの要部断面側

1……水平偏向コイル、2……ポピン、3…… 垂直偏向コイル、4……コア、11……突起部、 14……垂直偏向コイル頭部渡り線部分、15… … 同尾部渡り線部分、17…… 同窓部、18…… を行なうことができる。一方、コア4に形成され 35 コア凹部。

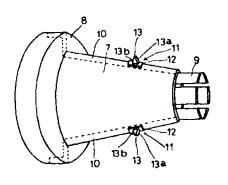
第1図



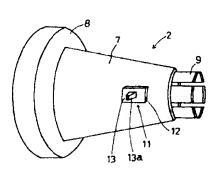
第2図



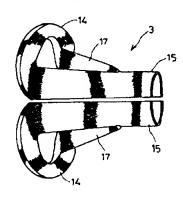
第3図



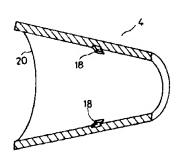
第4図



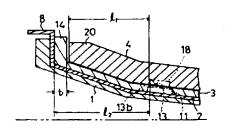
第5図



第6図



第7図





### VERIFICATION OF TRANSLATION

I, Michaela Komine, translator of 817 Famille Garden Nijoekimae, 1 Amaike-cho, Mibu, Nakagyo-ku, Kyoto City, Japan, hereby declare that I am conversant with the English and Japanese languages and am a competent translator thereof. I further declare that to the best of my knowledge and belief the following is a true and correct translation made by me of Japanese Document 60-1490.

Date: July 24, 2001

Michaela Komine

# PARTIAL TRANSLATION JAPANESE DOCUMENT 60-1490 DEFLECTION YOKE

[omission]

Claim

A deflection yoke composed of a saddle-shaped deflection coil formed having rear-extending ray section extending in a straight line axis direction, characterized by:

protruding units being provided in opposition on an outer surface of a bobbin in relation to a window unit of the deflection coil; and

concave units provided in correspondence with the bobbin protruding units on an inner surface of a core which is positioned on the outer surface of the deflection coil, and the bobbin and the core being interlocked through the protruding units and the concave units.

[omission]